

PAPERLESS

本当のペーパーレスとは？

印刷会社が唱える
この究極の矛盾に
現役女子大生が
鋭く切り込む！

「本当のペーパーレスとは？」

印刷会社としてこの問いに 誠実に向き合う

SDGs、カーボンニュートラル、ペーパーレスなど、世の中は今、環境保護を目的とした活動に注目が集まっています。

しかし、地球と企業では根本的な規模感が異なります。地球を主語にした環境保護と、企業を主語にした企業活動を両立させることは、不可能に近いです。地球が誕生して46億年、人類が誕生して500万年、企業のような人間による社会組織の歴史はさらに短いです。

環境に優しいと言われている商品やサービスも、結局はコストカットやデジタルの優位性の証明であり、エコマーケティングに過ぎないものばかりです。

- 「建前」と「本音」
- 「努力」と「才能」
- 「感情」と「データ」

常に、矛盾や疑問をはらみながら、この社会に存在しています。どちらが正しいとは私たちに言えません。

デジタルは、保存や共有、検索など、我々の思考を加速させて生活をより便利にすることができます。

紙への印刷物は、偶然という可能性や、そこに関わる人の思い、生活など、私たちの「文化」を形作るものでもあります。

重要なのは0か100かの極端な思考ではありません。曖昧さを誤魔化すことでもありません。

この矛盾や疑問に誠実に向き合い、共存共栄することだと私は考えています。

取締役 CSO 最高戦略責任者
アンドピース合同会社 CEO

奥 武士
Takeshi Oku

文星閣の環境方針

株式会社文星閣は環境に配慮した「BEPS」を推進し、最新技術による水なし印刷をはじめ、環境に優しい印刷の普及に努めます。

さらに地球環境への負荷の低減と、安全で快適な職場作りに向けて社員一丸となって取り組み、「よりよい企業」を目指します。

BEPS

「水なし印刷」を中心とする、トータルな環境対応システム
Bunseikaku Ecology Printing System

印刷



水なし印刷

用紙





FSC® 認証紙 LIMEX 再生紙

インキ





NON-VOC インキ (東洋インキ) 植物油インキ バイオマスインキ

CO2削減




カーボン・オフセット

環境適合





GP (グリーンプリンティング) グリーン購入ネットワーク 東京都大田区認定「優工場」

上記の「環境対応」は一例です。

株式会社文星閣

〒143-0004 東京都大田区昭和島 1-5-32
TEL.03-3763-8370/FAX.03-3768-2130





ICTの進歩やコロナ禍による在宅ワークへのシフトなど、働き方改革に伴って社会のペーパーレス化の流れは年々早まっています。また、SDG'sやカーボンニュートラルなど、地球規模での環境への取り組みが謳われ、商業印刷の分野も少なからずその影響を受けています。

unnecessary印刷物を作らないことで、資源を守り廃棄を減らすことは大切です。でもだからと言って印刷物が全く不要なものにはならないはずですよ。

デジタル・ネイティブ世代と言われるインターンのお二人に、ペーパーレスについて、思いのままに話し合っていました。

本当のペーパーレスって？

— それではさっそく始めたいと思いますが、大学生活やこれまでにペーパーレスを感じたシーン、もしくはまだまだだなと思うことなどはありますか？

Nさん まだまだだなって思うのは、授業のレジュメとかは全部印刷する必要がないかって、リアクションペーパーとかもネットから出せますし。

Yさん 私はデータでもらっても、紙にプリントして書き込んでることが多いです。

Nさん あ、もちろん個人的にやるのはぜんぜん良いんですけど、いらぬ人もいるだろうから、全員に配る必要はないかって。しかも絶対余るんですよ。結構な量でドサ！って。

Yさん 確かに。余ってますね。

Nさん あと学校の図書館の紙の貸出表がまだに付いてのを見るとレトロだなーみたいな。

Yさん 私の地元の図書館でもいまだにスタンプをカシャンって押してますね。あ、これ半年前に借りた人いるんだみたいな。「耳をすませば」みたいな(笑)あと住民票とか婚姻届とかもデジタルで申請はできて、まだ紙が必要ですよ。

Nさん 婚姻届は紙であったほうが記念みたいな感じにはなりますね(笑)

Yさん 思い出にはなるよね。逆に離婚届は紙じゃなくていいかも(笑)

Nさん ペーパーレスを感じたことと言えば、電車の中で新聞を読んでいる人が減りましたよね。高校生の時よくみましたけど。

Yさん きれいにたたんでるおじさん、いなくなっちゃいましたね。

— ペーパーレス化=デジタル化、でもあると思うのですが、それによるメリットやデメリットについてはどう思いますか？

Yさん 例えば大学だと文献とか資料とかを昔は本でしか手にできなかったのが、今はけっこう国内外の論文とか必要な資料がPDFで集めることができて、それってやっぱり電子化の恩恵だと思ってますよね。本当は現地まで行かないと読めない資料とかもオンラインでわりと気軽にアクセスできますし。

Nさん そうですね。私は就活の時にES(エントリーシート)とかは全部オンラインで出せてたっていうのが。たまに郵送しなきゃいけないところもあるんですけど、以前なら全部郵送しなきゃいけないんだなあとと思うと、便利だな。

Yさん ただ Wikipedia が広まってから広範な知識に触れることはできるようになったんですけど、ひとつひとつの物事をつっこむ機会がちょっと減ったなっていうのがあって。わからないことがあれば調べればすぐにぱっと出てきちゃうんで、考えなくても知識に触れられちゃうんですよね。でも考えるっていうプロセスを作るために本を読むっていうのは自分にとって大事な時間だったなと思って。

Nさん それはありますね。でも Wikipedia から関心が高まってさらに本に、っていう逆パターンもありますよね。あと、少し前に面接官の評価とかの資料がネットに流出しちゃったみたいない事件があって、紙だったら簡単には流出してなかったのかなって。そういうリスクもありますよね。

Yさん さっきの婚姻届じゃないけど、データだといくらでも改ざんしようと思えばできちゃって、筆跡とか修正できるとかできないとか、やっぱり大事な書類は紙



でやりとりするっていうのは残ってくるのかなと思いますよね。あとはデータで一番イヤなのは消えちゃうってことなんですよ。紙で手元に置きたいものと、データでいいものの違いって、いつ消えてもいいと思えるものはデータで、って感覚がありますね。

Nさん 逆にデータだと失くしても検索はできるってこともありますよね。ただその分、ネットで出したものがどこに残っちゃう。紙だったら書ける秘密の事とかも簡単には書けないですよ。



— 確かに。便利だけどそういうリスクはありますね、表裏一体という。ペーパーレスによる情報格差についてはどう思いますか？

Nさん 紙だとやっぱりスピードは遅くなるんじゃないですか。デジタルだとリアルに入ってこないじゃないですか。ただ、そもそも全ての人があるパソコンを持っているわけではない、っていうのがありますけどね。家にパソコンがなかったら使い方もわからないままですよ。

Yさん 学校によってもタブレットがもう導入されている小学校もあれば、そうじゃないところもありますよね。あとは今回のワクチン接種のお知らせなんかも、本当にスマホとかパソコンを使えない高齢者のかたとかは、家に紙が届かないと気づかないってことがあるかもじゃないですか。

— そう考えると国が掲げるデジタル化っていうのはまだまだ先が遠いかもしれないですね。お二人が考える「本当のペーパーレス」ってなんだと思いますか？

Nさん 紙と電子をうまく使い分け、みたいな。紙を全部無くすっていうのはただのコストカットのような気が。

Yさん やっぱり紙じゃないといけないところもありますよね。ネットに簡単に流出されたくないものとか。

Nさん それで紙を使うにしても、その紙の作り方とかでやっぱり、環境に優しい方法にしていってというのが一番なんじゃないのかなって。

Yさん そうですね。紙じゃなきゃいけないところをしっかりと明らかにして、それをさらに効率的に回すためにデジタルをどう使えばいいんだろうみたいな。

Nさん 紙をベースにデジタルを考える、っていう感じですよ。

— なるほど。それは究極の答えかもしれませんが、最後に、20年後、30年後について聞かせてください。

Nさん とりあえず、婚姻届はペーパーレスができてそうですね(笑)

Yさん 婚姻届も離婚届も、全部ですね(笑)